

使用上の注意等改訂のお知らせ

2026年2月

ファイザー株式会社

抗ウイルス剤

ニルマトレルビル錠/リトナビル錠

パキロビッド[®]パック

Paxlovid[®]PACK

特例承認医薬品、劇薬、処方箋医薬品（注意 - 医師等の処方箋により使用すること）

パキロビッド[®]パック600 パキロビッド[®]パック300

Paxlovid[®]PACK 600・300

劇薬、処方箋医薬品（注意 - 医師等の処方箋により使用すること）

標記製品の電子化された添付文書（以下、電子添文）の「使用上の注意」を次のとおり自主改訂いたしますのでご案内申し上げます。

今後のご使用に際しましては、以下の内容をご参照くださいようお願い申し上げます。

【改訂内容】

<パキロビッドパック>

改訂前（波線部は削除箇所）	改訂後（下線部は改訂箇所）
<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1 省略</p> <p>2.2 次の薬剤を投与中の患者：エレトリプタン臭化水素酸塩、アゼルニジピン、オルメサルタンメドキソミル・アゼルニジピン、エプレレノン、アミオダロン塩酸塩、ベブリジル塩酸塩水和物、フレカイニド酢酸塩、プロパフェノン塩酸塩、キニジン硫酸塩水和物、リバーロキサバン、チカグレロル、アナモレリン塩酸塩、ボクロスピリジン、リファブチン、ブロナンセリン、ルラシドン塩酸塩、ピモジド、スポレキサント、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、エルゴメトリンマレイン酸塩、ジヒドロエルゴタ</p>	<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1 省略</p> <p>2.2 次の薬剤を投与中の患者：エレトリプタン臭化水素酸塩、アゼルニジピン、オルメサルタンメドキソミル・アゼルニジピン、エプレレノン、アミオダロン塩酸塩、ベブリジル塩酸塩水和物、フレカイニド酢酸塩、プロパフェノン塩酸塩、キニジン硫酸塩水和物、リバーロキサバン、チカグレロル、アナモレリン塩酸塩、ボクロスピリジン、リファブチン、ブロナンセリン、ルラシドン塩酸塩、ピモジド、スポレキサント、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、エルゴメトリンマレイン酸塩、ジヒドロエルゴタ</p>

改訂前(波線部は削除箇所)	改訂後(下線部は改訂箇所)																																																							
<p>ルゴタミンメシル酸塩、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩、フィネレノン、イバブラジン塩酸塩、シルデナフィルクエン酸塩（レバチオ）、タダラフィル（アドシルカ）、バルデナフィル塩酸塩水和物、ロミタピドメシル酸塩、ベネトクラクス〈再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期〉、ジアゼパム、クロラゼプ酸二カリウム、エスタゾラム、フルラゼパム塩酸塩、トリアゾラム、ミダゾラム、ボリコナゾール、アパルタミド、カルバマゼピン、フェニトイイン、ホスフェニトイインナトリウム水和物、フェノバルビタール、メベンゾラート臭化物・フェノバルビタール、リファンビシン、エンザルタミド、セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort、セント・ジョンズ・ワート）含有食品 [10.1 参照]</p> <p>2.3 省略</p>	<p>ミンメシル酸塩、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩、フィネレノン、イバブラジン塩酸塩、シルデナフィルクエン酸塩（レバチオ）、タダラフィル（アドシルカ）、バルデナフィル塩酸塩水和物、ロミタピドメシル酸塩、<u>マバカムテン</u>、ベネトクラクス〈再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期〉、ジアゼパム、クロラゼプ酸二カリウム、エスタゾラム、フルラゼパム塩酸塩、トリアゾラム、ミダゾラム、ボリコナゾール、アパルタミド、カルバマゼピン、フェニトイイン、ホスフェニトイインナトリウム水和物、フェノバルビタール、メベンゾラート臭化物・フェノバルビタール、リファンビシン、エンザルタミド、セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort、セント・ジョンズ・ワート）含有食品 [10.1 参照]</p> <p>2.3 省略</p>																																																							
<p>7. 用法及び用量に関する注意</p> <p>7.1 省略</p> <p>7.2 中等度の腎機能障害患者（eGFR [推算糸球体ろ過量] 30mL/min 以上 60mL/min 未満）には、ニルマトレルビルとして 1 回 150mg 及びリトナビルとして 1 回 100mg を同時に 1 日 2 回、5 日間経口投与すること。重度の腎機能障害患者（eGFR 30mL/min 未満）への投与は推奨しない。[9.2.2、9.2.3、16.6.1 参照]</p>	<p>7. 用法及び用量に関する注意</p> <p>7.1 省略</p> <p>7.2 中等度の腎機能障害患者（eGFR [推算糸球体ろ過量] 30mL/min 以上 60mL/min 未満）には、ニルマトレルビルとして 1 回 150mg 及びリトナビルとして 1 回 100mg を同時に 1 日 2 回、5 日間経口投与すること。重度の腎機能障害患者（eGFR 30mL/min 未満）への投与は推奨しない。[9.2.2、9.2.3、<u>14.1.1、14.2.1、16.6.1</u> 参照]</p>																																																							
<p>10. 相互作用</p> <p>省略</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エレトリブタン 臭化水素酸塩 (レルパックス) 省略</td> <td>省略</td> <td>省略</td> </tr> <tr> <td>ロミタピドメシル酸塩 (ジャクスタピッド) [2.2 参照]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>省略</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>10.2 併用注意（併用に注意すること）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>省略</td> <td>省略</td> <td>本剤が CYP3A におけるこれら薬剤の代謝を競合的に阻害するためと考えられている。</td> </tr> <tr> <td>シクロスボリン タクロリムス水和物</td> <td>省略</td> <td></td> </tr> <tr> <td>エトラビリン</td> <td><u>エトラビリンの血中濃度が低下したとの報告がある。</u></td> <td>本剤の肝薬物代謝酵素誘導作用によるものと考えられている。</td> </tr> <tr> <td>その他の HIV プロテアーゼ阻害薬： <u>アタザナビル硫酸塩</u></td> <td>これら薬剤の血中濃度が上昇するおそれがある。</td> <td>本剤が CYP3A によるこれら薬剤の代謝を競合的に阻害するためと考えられている。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	エレトリブタン 臭化水素酸塩 (レルパックス) 省略	省略	省略	ロミタピドメシル酸塩 (ジャクスタピッド) [2.2 参照]				省略		薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	省略	省略	本剤が CYP3A におけるこれら薬剤の代謝を競合的に阻害するためと考えられている。	シクロスボリン タクロリムス水和物	省略		エトラビリン	<u>エトラビリンの血中濃度が低下したとの報告がある。</u>	本剤の肝薬物代謝酵素誘導作用によるものと考えられている。	その他の HIV プロテアーゼ阻害薬： <u>アタザナビル硫酸塩</u>	これら薬剤の血中濃度が上昇するおそれがある。	本剤が CYP3A によるこれら薬剤の代謝を競合的に阻害するためと考えられている。	<p>10. 相互作用</p> <p>省略</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エレトリブタン 臭化水素酸塩 (レルパックス) 省略</td> <td>省略</td> <td>省略</td> </tr> <tr> <td>ロミタピドメシル酸塩 (ジャクスタピッド) [2.2 参照]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>マバカムテン</u> (カムザイオス) [2.2 参照]</td> <td><u>マバカムテンの血中濃度が上昇し、心全のリスクが高まる</u> おそれがある。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>省略</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>10.2 併用注意（併用に注意すること）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>省略</td> <td>省略</td> <td rowspan="3">本剤が CYP3A におけるこれら薬剤の代謝を競合的に阻害するためと考えられている。</td> </tr> <tr> <td>シクロスボリン タクロリムス水和物</td> <td>省略</td> </tr> <tr> <td>リメガバント硫酸塩水和物</td> <td>リメガバントの血中濃度が上昇し、副作用が増強されるおそれがあるため、併用を避けることが望ましい。</td> </tr> <tr> <td>その他の HIV プロテアーゼ阻害薬： ダルナビル エタノール</td> <td>これら薬剤の血中濃度が上昇するおそれがある。</td> <td>本剤が CYP3A によるこれら薬剤の代謝を競合的に阻害するためと考えられている。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	エレトリブタン 臭化水素酸塩 (レルパックス) 省略	省略	省略	ロミタピドメシル酸塩 (ジャクスタピッド) [2.2 参照]			<u>マバカムテン</u> (カムザイオス) [2.2 参照]	<u>マバカムテンの血中濃度が上昇し、心全のリスクが高まる</u> おそれがある。			省略		薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	省略	省略	本剤が CYP3A におけるこれら薬剤の代謝を競合的に阻害するためと考えられている。	シクロスボリン タクロリムス水和物	省略	リメガバント硫酸塩水和物	リメガバントの血中濃度が上昇し、副作用が増強されるおそれがあるため、併用を避けることが望ましい。	その他の HIV プロテアーゼ阻害薬： ダルナビル エタノール	これら薬剤の血中濃度が上昇するおそれがある。	本剤が CYP3A によるこれら薬剤の代謝を競合的に阻害するためと考えられている。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																																																						
エレトリブタン 臭化水素酸塩 (レルパックス) 省略	省略	省略																																																						
ロミタピドメシル酸塩 (ジャクスタピッド) [2.2 参照]																																																								
	省略																																																							
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																																																						
省略	省略	本剤が CYP3A におけるこれら薬剤の代謝を競合的に阻害するためと考えられている。																																																						
シクロスボリン タクロリムス水和物	省略																																																							
エトラビリン	<u>エトラビリンの血中濃度が低下したとの報告がある。</u>	本剤の肝薬物代謝酵素誘導作用によるものと考えられている。																																																						
その他の HIV プロテアーゼ阻害薬： <u>アタザナビル硫酸塩</u>	これら薬剤の血中濃度が上昇するおそれがある。	本剤が CYP3A によるこれら薬剤の代謝を競合的に阻害するためと考えられている。																																																						
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																																																						
エレトリブタン 臭化水素酸塩 (レルパックス) 省略	省略	省略																																																						
ロミタピドメシル酸塩 (ジャクスタピッド) [2.2 参照]																																																								
<u>マバカムテン</u> (カムザイオス) [2.2 参照]	<u>マバカムテンの血中濃度が上昇し、心全のリスクが高まる</u> おそれがある。																																																							
	省略																																																							
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																																																						
省略	省略	本剤が CYP3A におけるこれら薬剤の代謝を競合的に阻害するためと考えられている。																																																						
シクロスボリン タクロリムス水和物	省略																																																							
リメガバント硫酸塩水和物	リメガバントの血中濃度が上昇し、副作用が増強されるおそれがあるため、併用を避けることが望ましい。																																																							
その他の HIV プロテアーゼ阻害薬： ダルナビル エタノール	これら薬剤の血中濃度が上昇するおそれがある。	本剤が CYP3A によるこれら薬剤の代謝を競合的に阻害するためと考えられている。																																																						

改訂前（波線部は削除箇所）	改訂後（下線部は改訂箇所）																		
<table border="1"> <tr> <td>ダルナビル エタノール 付加物等</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>マラビロク</td><td>マラビロクの血中濃度 が上昇するおそれがあ る。</td><td></td></tr> <tr> <td align="center" colspan="3">省略</td></tr> </table>	ダルナビル エタノール 付加物等			マラビロク	マラビロクの血中濃度 が上昇するおそれがあ る。		省略			<table border="1"> <tr> <td>付加物等</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>マラビロク</td><td>マラビロクの血中濃度 が上昇するおそれがあ る。</td><td></td></tr> <tr> <td align="center" colspan="3">省略</td></tr> </table>	付加物等			マラビロク	マラビロクの血中濃度 が上昇するおそれがあ る。		省略		
ダルナビル エタノール 付加物等																			
マラビロク	マラビロクの血中濃度 が上昇するおそれがあ る。																		
省略																			
付加物等																			
マラビロク	マラビロクの血中濃度 が上昇するおそれがあ る。																		
省略																			
14. 適用上の注意	14. 適用上の注意																		
14.1 薬剤調製時の注意	14.1 薬剤調製時の注意																		
14.1.1 シート1枚には通常用法・用量の1日分（朝及び夕方の2回分）のニルマトレルビル錠（計4錠）及びリトナビル錠（計2錠）が含まれる。中等度の腎機能障害患者に対する用法・用量が処方された場合、朝及び夕方の服用分それぞれから、ニルマトレルビル錠2錠のうち1錠を取り除き、取り除いた箇所に専用のシールを貼り付けて交付すること。 [9.2.2 参照]	14.1.1 シート1枚には通常用法・用量の1日分（朝及び夕方の2回分）のニルマトレルビル錠（計4錠）及びリトナビル錠（計2錠）が含まれる。中等度の腎機能障害患者に対する用法・用量が処方された場合、朝及び夕方の服用分それぞれから、ニルマトレルビル錠2錠のうち1錠を取り除き、取り除いた箇所に専用のシールを貼り付けて交付すること。 [7.2、9.2.2 参照]																		
14.2 薬剤交付時の注意	14.2 薬剤交付時の注意																		
14.2.1 シート1枚には1日分（朝及び夕方の2回分）が含まれるため、1回に服用すべき錠剤を患者に指導すること。また、中等度の腎機能障害患者に対する用法・用量が処方された患者にはシートから不要な錠剤が除かれていることを説明すること。[9.2.2 参照]	14.2.1 シート1枚には1日分（朝及び夕方の2回分）が含まれるため、1回に服用すべき錠剤を患者に指導すること。また、中等度の腎機能障害患者に対する用法・用量が処方された患者にはシートから不要な錠剤が除かれていることを説明すること。[7.2、9.2.2 参照]																		
14.2.2 省略	14.2.2 省略																		

<パキロビッドパック 600/300>

改訂前 (波線部は削除箇所)	改訂後 (下線部は改訂箇所)																																														
<p>2. 禁忌 (次の患者には投与しないこと)</p> <p>2.1 省略</p> <p>2.2 次の薬剤を投与中の患者：エレトリプタン臭化水素酸塩、アゼルニジピン、オルメサルタンメドキソミル・アゼルニジピン、エプレレノン、アミオダロン塩酸塩、ベブリジル塩酸塩水和物、フレカイニド酢酸塩、プロパフェノン塩酸塩、キニジン硫酸塩水和物、リバーロキサバン、チカグレロル、アナモレリン塩酸塩、ボクロスポリン、リファブチン、プロナンセリン、ルラシドン塩酸塩、ピモジド、スポレキサント、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、エルゴメトリンマレイン酸塩、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩、フィネレノン、イバプラジン塩酸塩、シルデナフィルクエン酸塩（レバチオ）、タダラフィル（アドシルカ）、バルデナフィル塩酸塩水和物、ロミタピドメシル酸塩、ベネトクラクス〈再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期〉、ジアゼパム、クロラゼプ酸二カリウム、エスタゾラム、フルラゼパム塩酸塩、トリアゾラム、ミダゾラム、ボリコナゾール、アパルタミド、カルバマゼピン、フェニトイイン、ホスフェニトイインナトリウム水和物、フェノバルビタール、メベンゾラート臭化物・フェノバルビタール、リファンビシン、エンザルタミド、セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort、セント・ジョンズ・ワート）含有食品 [10.1 参照]</p> <p>2.3 省略</p>	<p>2. 禁忌 (次の患者には投与しないこと)</p> <p>2.1 省略</p> <p>2.2 次の薬剤を投与中の患者：エレトリプタン臭化水素酸塩、アゼルニジピン、オルメサルタンメドキソミル・アゼルニジピン、エプレレノン、アミオダロン塩酸塩、ベブリジル塩酸塩水和物、フレカイニド酢酸塩、プロパフェノン塩酸塩、キニジン硫酸塩水和物、リバーロキサバン、チカグレロル、アナモレリン塩酸塩、ボクロスポリン、リファブチン、プロナンセリン、ルラシドン塩酸塩、ピモジド、スポレキサント、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、エルゴメトリンマレイン酸塩、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩、フィネレノン、イバプラジン塩酸塩、シルデナフィルクエン酸塩（レバチオ）、タダラフィル（アドシルカ）、バルデナフィル塩酸塩水和物、ロミタピドメシル酸塩、マバカムテン、ベネトクラクス〈再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期〉、ジアゼパム、クロラゼプ酸二カリウム、エスタゾラム、フルラゼパム塩酸塩、トリアゾラム、ミダゾラム、ボリコナゾール、アパルタミド、カルバマゼピン、フェニトイイン、ホスフェニトイインナトリウム水和物、フェノバルビタール、メベンゾラート臭化物・フェノバルビタール、リファンビシン、エンザルタミド、セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort、セント・ジョンズ・ワート）含有食品 [10.1 参照]</p> <p>2.3 省略</p>																																														
<p>10. 相互作用</p> <p>省略</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エレトリプタン 臭化水素酸塩 (レルパックス) 省略 ロミタピドメシル酸塩 (ジャクスタピッド) [2.2 参照]</td> <td>省略</td> <td>省略</td> </tr> <tr> <td colspan="3">省略</td> </tr> </tbody> </table> <p>10.2 併用注意（併用に注意すること）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>省略</td> <td>省略</td> <td>本剤が CYP3A におけるこれら薬剤の代謝を競合的に阻害するためと考えられている。</td> </tr> <tr> <td>シクロスボリン タクロリムス水和物</td> <td>省略</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">省略</td> </tr> <tr> <td>エトラビリン</td> <td>エトラビリンの血中濃度が低下したとの報告</td> <td>本剤の肝薬物代謝酵素誘導作用</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	エレトリプタン 臭化水素酸塩 (レルパックス) 省略 ロミタピドメシル酸塩 (ジャクスタピッド) [2.2 参照]	省略	省略	省略			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	省略	省略	本剤が CYP3A におけるこれら薬剤の代謝を競合的に阻害するためと考えられている。	シクロスボリン タクロリムス水和物	省略		省略			エトラビリン	エトラビリンの血中濃度が低下したとの報告	本剤の肝薬物代謝酵素誘導作用	<p>10. 相互作用</p> <p>省略</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エレトリプタン 臭化水素酸塩 (レルパックス) 省略 ロミタピドメシル酸塩 (ジャクスタピッド) [2.2 参照]</td> <td>省略</td> <td>省略</td> </tr> <tr> <td>マバカムテン (カムザイオス) [2.2 参照]</td> <td>マバカムテンの血中濃度が上昇し、心不全のリスクが高まるおそれがある。</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">省略</td> </tr> </tbody> </table> <p>10.2 併用注意（併用に注意すること）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>省略</td> <td>省略</td> <td rowspan="3">本剤が CYP3A におけるこれら薬剤の代謝を競合的に阻害するためと考えられている。</td> </tr> <tr> <td>シクロスボリン タクロリムス水和物</td> <td>省略</td> </tr> <tr> <td>リメガバント硫酸塩水和物</td> <td>リメガバントの血中濃度が上昇し、副作用が増強されるおそれがあるため、併用を避ける</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	エレトリプタン 臭化水素酸塩 (レルパックス) 省略 ロミタピドメシル酸塩 (ジャクスタピッド) [2.2 参照]	省略	省略	マバカムテン (カムザイオス) [2.2 参照]	マバカムテンの血中濃度が上昇し、心不全のリスクが高まるおそれがある。		省略			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	省略	省略	本剤が CYP3A におけるこれら薬剤の代謝を競合的に阻害するためと考えられている。	シクロスボリン タクロリムス水和物	省略	リメガバント硫酸塩水和物	リメガバントの血中濃度が上昇し、副作用が増強されるおそれがあるため、併用を避ける
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																																													
エレトリプタン 臭化水素酸塩 (レルパックス) 省略 ロミタピドメシル酸塩 (ジャクスタピッド) [2.2 参照]	省略	省略																																													
省略																																															
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																																													
省略	省略	本剤が CYP3A におけるこれら薬剤の代謝を競合的に阻害するためと考えられている。																																													
シクロスボリン タクロリムス水和物	省略																																														
省略																																															
エトラビリン	エトラビリンの血中濃度が低下したとの報告	本剤の肝薬物代謝酵素誘導作用																																													
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																																													
エレトリプタン 臭化水素酸塩 (レルパックス) 省略 ロミタピドメシル酸塩 (ジャクスタピッド) [2.2 参照]	省略	省略																																													
マバカムテン (カムザイオス) [2.2 参照]	マバカムテンの血中濃度が上昇し、心不全のリスクが高まるおそれがある。																																														
省略																																															
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																																													
省略	省略	本剤が CYP3A におけるこれら薬剤の代謝を競合的に阻害するためと考えられている。																																													
シクロスボリン タクロリムス水和物	省略																																														
リメガバント硫酸塩水和物	リメガバントの血中濃度が上昇し、副作用が増強されるおそれがあるため、併用を避ける																																														

改訂前（波線部は削除箇所）			改訂後（下線部は改訂箇所）		
	がある。	によるものと考えられている。		ことが望ましい。 省略	
その他の HIV プロテアーゼ阻害薬： <u>アタザナビル硫酸塩</u> ダルナビル エタノール 付加物等	これら薬剤の血中濃度が上昇するおそれがある。	本剤が CYP3A によるこれら薬剤の代謝を競合的に阻害するためと考えられている。	その他の HIV プロテアーゼ阻害薬： ダルナビル エタノール 付加物等	これら薬剤の血中濃度が上昇するおそれがある。	本剤が CYP3A によるこれら薬剤の代謝を競合的に阻害するためと考えられている。
マラビロク	マラビロクの血中濃度が上昇するおそれがある。		マラビロク	マラビロクの血中濃度が上昇するおそれがある。	
省略					省略

【改訂理由】

自主改訂

1) 「2.禁忌」「10.1 併用禁忌」の項

マバカムテン

マバカムテン（販売名：カムザイオス/ブリストル・マイヤーズ スクایプ株式会社）の電子添文の「2.禁忌」「10.1 併用禁忌」の項にリトナビル含有製剤（パキロビッド）が記載されたことを受け、本剤の電子添文においてもマバカムテンを追記し注意喚起を行うことにいたしました。

2) 「10.2 併用注意」の項

リメグパント硫酸塩水和物

リメグパント硫酸塩水和物（販売名：ナルティーク/ファイザー株式会社）の電子添文の「10.2 併用注意」の項に「リトナビル等」を記載したことより、リトナビル錠とニルマトレルビル錠を組み合わせた本剤の電子添文においてもリメグパント硫酸塩水和物を追記し注意喚起を行うことにいたしました。

エトラビリン及びアタザナビル硫酸塩

国内における製造販売が中止されたエトラビリン及びアタザナビル硫酸塩を「10.2 併用注意」の項から削除いたしました。

なお、パキロビッドパックについては、7.2 項と 14.1.1 及び 14.2.1 項の相互参照を追加いたしました。

また、パキロビッドパック 600/300 については、令和 6 年 2 月 22 日付医薬品審査発 0222 第 1 号「新型コロナウイルス感染症に係る特例承認を受けている医薬品について通常承認を受けようとする場合における申請の取扱いについて」に基づき、通常承認へ移行されたため、電子添文冒頭部枠内の注意喚起削除の記載整備をいたしました。

※改訂内容につきましては医薬品安全対策情報（DSU）No.343（2026年3月）に掲載される予定です。※

お問い合わせ先：ファイザー株式会社 Pfizer Connect/メディカル・インフォメーション 0120-664-467

〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7 新宿文化クイントビル

PMDA ウェブサイト「医薬品に関する情報」(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>) に最新の電子添文及び医薬品安全対策情報（DSU）が掲載されます。

また、ファイザー新型コロナウイルス『治療薬』医療従事者専用サイト (<https://www.covid19oralrx-hcp.jp/>) に製品情報を掲載しております。なお、以下の GS1 バーコードを「添文ナビ」で読み取ることで、もしくは以下の PMDA ウェブサイトより本製品の最新の電子添文等をご覧いただけます。

パキロビッドパック



(01)14987114980905

パキロビッドパック 600/300



(01)14987114981209

PMDA ウェブサイト ニルマトレルビル・リトナビル

パキロビッドパック : <https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuDetail/GeneralList/62501B5>

パキロビッドパック 600/300 : <https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuDetail/GeneralList/6250120>